

令和3年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）⑧

令和3年10月6日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和3年度行政評価・外部評価⑧ 「任意事業（食の自立支援事業）」【長寿課】
開催日時	令和3年10月6日（水） 午後4時35分から午後5時30分まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 室淳子、岡崎信久、細萱健一、安立憲市、近藤恵美子 <担当課> 福祉部長 川本満男、長寿課長 粕谷庸介、 いきいき長寿係長 富田昌樹 <事務局> 総務部次長 福岡隆也、行政課長 若杉雅弥、 課長補佐 伊藤 愁
傍聴者人数	0人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な事業者選定の基準を策定することも検討して欲しい。 ・1日1食で体調の改善につながるのか効果に疑問がある。判定の基準の明確化に市として取り組む必要がある。 ・事業目的の達成を目指すのであれば、栄養改善の効果を検証すべきではないか。全員を対象とするのは難しいので、モニターを抽出して調査するなどを検討してはどうか。 地域包括支援センターによる訪問調査を活用することも可能ではないか。 ・成果指標が目標を達成する為の指標として適切なのか。効果の検証も含めて、場合によっては、対象者を絞ってでも効果を上げることも検討すべきではないか。 ・利用基準、補助額については、毎年でもよいので随時見直しをしてほしい。 ・実施業者の数だけを増やすと、1社あたりのサービス利用者（数）の減少も考えられ、サービス低下や食事単価の値上がり等につながる事が考えられる。利用者の選択肢を増やす観点では良いと思うが、トータルでの検討が必要である。
-----------------	--

	<ul style="list-style-type: none">・本事業のメリット、デメリットについて、今後も利用者の声や様々な立場の人からの意見を聞いた上で、本当に必要なサービスを厳選していかなければならない。・利用者ゼロが究極の目標と考えられる。そういう意味では、具体的な数値目標を再考する余地があると思うので、事業計画の見直しの際には、是非ともそういう視点を加味していただきたい。
--	--

講評・まとめ	高齢者が安心して暮らせるためにも重要な事業であり、事業の効果の検証方法、成果指標の見直しを検討して欲しい。
--------	---